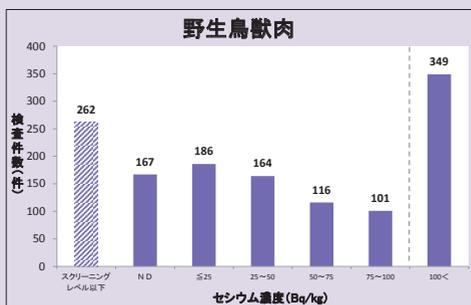


食品中の
放射性物質対策

17都県産食品の食品群別セシウム濃度分布 (平成26年度公表分) (3/3)



＜参考＞ 検査件数等の年次推移（全品目）

平成22～23年度（平成23年3月18日～）	137,037件	うち暫定規制値超過	1,204件（0.88%）
平成24年度	278,275件	うち基準値超過	2,372件（0.85%）
平成25年度	335,860件	うち基準値超過	1,025件（0.31%）
平成26年度	314,216件	うち基準値超過	565件（0.18%）

(Bq/kg:ベクレル/キログラム)

厚生労働省ウェブサイト「食品中の放射性物質への対応」より作成 厚生労働省

この図は、平成26年度の17都県産の野生鳥獣肉における放射性セシウム濃度の測定結果を示しています。

食品中の放射性物質検査は主として出荷前の段階において実施されています。基準値を超過するものは、出荷制限が指示されている地域のものがほとんどであり、廃棄等の適切な措置が採られます。

（「スクリーニングレベル以下」と「ND」の違い）

グラフにおける「スクリーニングレベル以下」とは、スクリーニング法により得られた結果が、スクリーニングレベル以下として報告されたものです（斜線グラフ）。

また、「ND（Not Detected）」とは、ゲルマニウム半導体検出器を用いた核種分析法により得られた結果が、検出限界以下として報告されたものです。

なお、スクリーニング法による検査の結果、スクリーニングレベルより大きい場合には、ゲルマニウム半導体検出器を用いた核種分析法にて改めて検査を実施することとされています。

本資料への収録日：平成26年3月31日

改訂日：平成28年1月18日